

単
元
名

『ララ・ラディア』を作ろう

教科書出版社名（ 教育芸術社 ）

○ 小学校（ 2 ）年 教科等（ 音楽 ）

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

（教科等で付けたい力）

・楽器や音楽家調べを通して、音楽についての興味・関心を高める。

（学校図書館等の活用で付けたい力）

・自分の興味のあることを、書籍を活用して調べようとする態度・意欲。

・説明に書かれている多くの情報の中から、必要な情報を選択し、まとめる力。

○ 学校図書館等活用のポイント

・調べて分かったことや思ったことはメモに残し、そのメモをもとにまとめる。

・はじめ、中、終わりの文章構成を考えて書けるようにする。

○ 学習の展開（全7時間）（学校図書館等を活用した時間は☆印）

第1次	・音楽室を探検して、どんな物（楽器や音楽家の肖像画など）があるのかを調べたり、実際に楽器の音を聞いたりする。 ・太鼓室を探検して、実際に音をならして体験する。
第2次	・調べたことや感じたことを発表し合い、自分が詳しく調べていきたい事柄を決め、学習の計画を立てる。
第3次（☆）	・資料を読み、読み方や内容を確認する。 ・ワークシート（調べたこと・思ったことメモ）のきっかけの項目について書く。 ・資料から分かったことや思ったことを、ワークシート（調べたこと・思ったことメモ）に記述する。
第4次（☆）	・メモをもとに、ワークシート（「 」はこんな「 」）にまとめる。

(本時5 / 7時)

☆学校図書館等活用(本時)の学習

本時のねらい
資料を読み、分かったことや思ったことをワークシートに書くことができる。

学習展開

時間(分)	主な学習活動 (「」予想される児童の反応)	指導上の留意点
5	1. めあての確認をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">調べて分かったことや思ったことを書くことができる</div>	
10	2. 資料を読み、ワークシートに書くことがらについて考える。 「〇〇について、はじめて知っておどろいた。ぜひ書きたい。」 「〇〇の部分、とても面白い。みんなに伝えたいなあ。」 「楽器のつくりについて書いているところはどこかな。」 「この言葉、意味が分からないなあ。」	・楽器については、基本的には楽器のつくりや音色について記述していくよう伝える。 ・驚いたところやなるほど思ったこと、みんなに伝えたいことなども記述していくよう説明する。 ・書きたいところに線を引かせ、分からない言葉には丸をつけるようにする。
25	3. 資料から分かったこと、思ったことをワークシートに書く。 「ベートーベンが耳が聞こえなくなったけれど、曲を作ったすごい。」 「そういえば、音を聞いたとき、きれいな音だったなあ。」 「この言葉の意味を知りたいなあ。」	・分かったことを書く際、文の言葉をそのまま引用するよう伝える。 ・意味の分からない言葉や言葉の意味を知りたくなったときは、辞書を引くことで理解を深められるようにする。 ・資料を見て思ったことや、実際に聞いて思ったことなども書くように伝える。
5	4. ふりかえりをする。	・進捗状況について確認し、次時について説明する。

図書館活用
ポイント

